



新年明けましておめでとうございます

# 支部社協通信



第24号  
平成25年1月1日発行  
西条市社会福祉協議会  
地域福祉課

支部社協の皆様方におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
旧年中は格別なるご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。支部社協の皆様方のご尽力によりまして、本会の地域福祉事業は市民の皆様にご大きな評価を得ており、感謝申し上げるところであります。  
さて、本年は巳年です。「巳」とは動物のへびのことですが、この漢字の語源は胎児を表わしたものであるとされており、巳年は新しい誕生を意味する年とされています。本会におきましても、巳年にふさわしい新たな事業展開や、既存事業の熟成を図るべく努力を傾注して参りますので、支部の皆様方におかれましても地域福祉事業につきまして積極的なご提言をご期待申し上げますとさせていただきます。

平成25年 元旦 西条市社会福祉協議会長 塩出 皓治

## 支部社協紹介

今号では、水と緑に恵まれ、歴史情緒溢れる西条支部を紹介いたします。

かつて西条地区は城下町として栄えてきました。その中心にあった西条藩の藩庁である西条陣屋は、寛永13年（1636年）一柳直盛公が西條68,600石を就封の途次、大阪で病没、その後長男直重公が遺領の内30,000石を就封した際、壕を掘り土を掻揚げて築かれたものです。お堀の周囲には武家屋敷を配し、大町より近江屋など豪商達を移住させ、多くの人で賑っていました。現在西条陣屋跡には西条高校が建てられています。大手門や堀、石垣については築城からそのままの位置に現存しており、西条地区のシンボルとなっています。

また、古くから周辺地域における「教育の揺り籠」としての面も有しており、藩校である擇善寺や県立西条中学（県立中学で2番目に開校、現西条高校）、県立女学校（現在は西条高校と合併）等の教育施設も数多く建てられ、教育文化の中心地として時代の魁となる英俊を輩出してきました。

陣屋構築当時の西条地域は、北町・荒木万福寺の北側東西に伸びる道筋が遠浅の海岸であり、養殖海苔や渡り蟹、アサリ、トリカイ等豊富な魚介類が採れる「海のまち」でしたが、現在では順次埋め立てられ、多数の企業が進出するなど、時代時代によって姿を変えながら発展して来ましたが、和と絆に結ばれた住民同士の支え合いの関係はいつまでも変わらず、今なお住民の間で受け継がれています。

### 西条支部

支部長 田坂 富夫

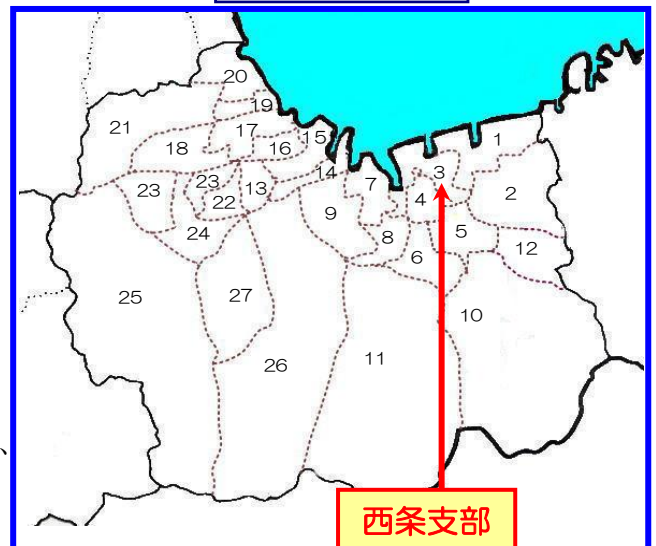


西条支部は連合自治会、民生・児童委員、婦人会より役員を構成して各自治会より評議員を出し、各種団体の声の波及に努め、地域の皆様の協力支援のもと「地域密着型」の支部社協運営を行っています。

西条地区内には、地域に根差した学校教育、豊かな産業基盤、水の都西条にふさわしい名所「弘法水」、親睦を深める地域伝統行事等、数多くの自慢があります。住民一人ひとりが自分達の暮らす地域に愛着を持っており、そこから結ばれた絆も大変強く、助け合い・支え合いの意識の根付いた大変住みよい地域です。しかし、将来発生が予測されている南海地震の防災対策等、地域全体で解決すべき課題も少なからず抱えています。

行政等の関係機関と連携し、ボランティア活動等で住民の皆様のお力添えをいただきながら、西条市の中心地域として住民が主体となったまちづくり、確かな地域福祉活動を推進していく所存ですので、ご理解ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

27支部位置図



- |      |        |        |       |
|------|--------|--------|-------|
| 1 玉津 | 8 橋    | 15 多賀  | 22 丹原 |
| 2 飯岡 | 9 氷見   | 16 壬生川 | 23 徳田 |
| 3 西条 | 10 加茂  | 17 国安  | 24 田野 |
| 4 神拝 | 11 大保木 | 18 吉岡  | 25 中川 |
| 5 大町 | 12 市之川 | 19 三芳  | 26 小松 |
| 6 神戸 | 13 周布  | 20 楠河  | 27 石根 |
| 7 禎瑞 | 14 吉井  | 21 庄内  |       |

※ 紹介済の支部は青色で表記しています。

## 西条地区はこんなところ



### ■基本情報（平成24年10月末現在）

人口：8,230人  
世帯数：3,575世帯  
自治会数：52  
施設等：西条小学校、西条北中学校、  
西条高等学校、西条市役所、  
西条公民館、こどもの国、裁判所、  
西条市郷土博物館等



### ■名所等

西条陣屋跡、堀端公園、弘法水、風伯神社等

### ■地場産業

水産業（青海苔養殖等）、鉄工団地、臨海工業地帯等

### ■伝統・行事等

秋祭り、正月行事（とうどさん、しめ縄づくり）、  
校区連合自治会運動会等



## 自慢の支部事業

敬老の家事業やミニデイサービスをはじめとする高齢者福祉事業は、各支部がもっとも力を入れている事業のひとつであり、参加者の方にとっては、自宅から出て地域住民の方と交流したり、新たな楽しみを見つける大きな場となっています。今回は、西条支部で10年以上にわたり開催されている「ミニデイサービスひびき」を紹介します。

- 1 事業名 ミニデイサービス グループ「ひびき」
- 2 目的 在宅高齢者支援
- 3 対象者 独居または自宅にこもりがちな高齢者（75歳以上）
- 4 事業内容 レクリエーション、食事会、歌（コーラス）、踊り、手芸・工作、おしゃべり会等
- 5 実施場所 西条公民館

西条支部では、自治会や民生・児童委員会、婦人会、見守り委員等の関係団体の協力をいただきながら、ミニデイサービス「グループひびき」を開催しています。

「ひびき」の活動は、旧西条市社協が取り組んだ「ふれあいのまちづくり事業（国庫補助事業、平成13年に終了）」で立ち上げたミニデイサービスの跡を引き継いで、平成14年より始めました。毎年5回を目安に開催しており、平成24年で活動は10年を迎えています。

ミニデイ当日は体操やレクリエーション、楽器の演奏、会食や、季節の行事等を行って参加者同士の親睦を深めています。参加の際には会費（昼食代）として500円を負担していただいておりますが、毎回40名以上の方が参加してくださっており、西条地域全体での「ひびき」の会員は70名余にまでなりました。

友人らと過ごす時間はとても楽しそうで、いきいきとされており、いつもよりお若く元気に見えます。最近では普段の立ち話の中でも「グループひびき」の話題が上がるようになり、「ひびきで会おうね」が地域内の合言葉のようになりました。また「ひびき」の会員の中から、カラオケ好きな方々が新たに「カラオケグループひびき」を立ち上げたりと、普段の生活の中での新たな交流や生きがいづくりが、ミニデイサービスの開催を通して行われています。

今後は若いボランティアや世話人の育成や勧誘等にも力を入れ、この取り組みが20年、30年と続いていくことを目指していければと考えています。

### ひびき活動内容例（10月：運動会）プログラム

- ①支部長挨拶
- ②ラジオ体操 グループひびきの歌
- ③選手宣誓 赤白各1名
- ④競技 ボール運び競争  
パン引きゲーム
- ⑤昼食
- ⑥みんなで唄い踊りましょう
- ⑦競技 ボーリングゲーム  
段違い玉入れ
- ⑧得点発表
- ⑨ティータイム
- ⑩グループひびきの歌

